

データビジネス創造コンテスト“DIG”で
佐賀大学大学院チームが
グランプリとなる**最優秀賞を受賞**しました

情報・業務改革課



データビジネス創造コンテスト“DIG”とは、

■主催:慶應義塾大学とアクセンチュア株式会社

■目的:ビックデータ時代を迎えて、データを活用して未来を創造するデータサイエンティストの人材育成が活発になっている。将来を担うデジタルネイティブ世代が、実際にデータを分析し、新たな知の抽出や価値の創出を競う場として本コンテストを開催し行政課題への提言を行う。

■対象:全国の高校生、大学生、大学院生
(社会人経験者は除く)

■内容:佐賀県、神奈川県、会津若松市、鯖江市、流山市がそれぞれ抱える行政課題とオープンデータを提供。学生からの政策提言を求める。

■佐賀県からは救急医療と有田町の観光について政策提言を求めた。



虎ノ門ヒルズで行われた
コンテストのPRイベント

**全国から応募のあった47チームの中から、佐賀大学大学院
チームがグランプリとなる最優秀賞を受賞しました！**



○佐賀県へ政策提言した3チームの審査結果。

- ・最優秀賞:オープンデータの分析による救急搬送プロセスの向上
(佐賀大学大学院チーム)
- ・審査員特別賞:緊急搬送における時間短縮に向けた救急車等の効率配置
(東京大学大学院チーム)
- ・入賞:有田焼創業400年に平均年齢19歳が挑む
(慶應義塾大学・京都造形芸術大学・県立有田工業高校の混合チーム)



佐賀県が全国初で行った救急車でのiPad活用で得た10万件を超える詳細な搬送データを基に、搬送時間の短縮を提言。また、唐津市消防本部のご厚意で救急指令室なども視察した「現場主義」での政策提言が高い評価を得た。

◆提言内容

- ・「#7119」の導入による救急車利用の抑制
- ・お薬手帳の情報により患者情報を取得

⇒ これらを簡便に利用できるアプリ
で、40秒の時間短縮

◆主な分析データ

- ・ 受入不可の患者の平均搬送時間
- ・ 受入不可の理由別搬送件数
- ・ 救急搬送患者の傷病の程度別件数
- ・ 受入不可理由「その他」の年代別件数
- ・ #7119(病気やけがで救急車を呼ぶかどうか迷った場合に、看護師らが相談に応じる電話窓口)の利用率と平均搬送時間
- ・ お薬手帳の携帯率と平均搬送時間

(プレゼン資料より)





オープンデータの積極的な利活用で
新しい政策を創造していく地域を目指します。

- 地方でも戦える、地方だからこそ勝てる -

お問い合わせ先

情報・業務改革課

TEL:0952-25-7035

FAX:0952-25-7299

E-mail:jouhou-kaikaku@pref.saga.lg.jp

